

《履修上の留意事項》【面接授業と遠隔授業の併用実施】

《担当者名》白石 淳

【概 要】

この授業は、高校において授業を展開するために必要な、教育方法、指導技術(話法、板書、学習指導案の作成方法他)等を授業の場面に即して学修する。また、情報機器を活用した効果的な授業や教材の作成・活用、情報モラル教育について、具体的な事例をおしながら学ぶ。

【学習目標】

授業終了後には次のことができるようになっているはずです。また、そうなるように自分からも努力してください。

- (1)今日の高校生に求められている資質・能力を育成するために必要な、教育の方法及び技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を理解できる。
- (2)高校において授業が展開できる力を修得できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	子どもの資質能力を育成するための教育の方法と技術の理解	①教育方法と技術を学ぶことの理解 ②カリキュラムの意味(含コアカリキュラム他) ③PDCAサイクル	白石
2	授業を構成するため必要な要件と授業の構造(1)	①学習指導における要素(教材、学級、生徒、教員、教室) ②学習指導案、教育方法・技術、情報機器の活用 ③授業に適した方法(集団、個別、教室の配置他)	白石
3	授業を構成するため必要な要件と授業の構造(2)	①学習形態、教材 ②生きる力と教科の目標 ③教育課程、教科書の構造、教科書と教材の活用 ④生徒観、教材観、指導観	白石
4	授業における指導技術(1)	①話法 ②板書、ノート指導 ③発問、指名、机間指導	白石
5	授業における指導技術(2)	指導技術と情報機器・教材の効果的な教材の作成・提示、教科書の内容構成、アクティブ・ラーニングによる授業展開	白石
6	学習指導案の作成と指導技術(1)	①学習指導案の役割 ②記載すべき事項 ③略案の作成方法 ④教科書の意義・内容	白石
7	学習指導案の作成と指導技術(2)	①学習指導案の指導計画 ②単元の設定・目標 ③本時の目標の設定	白石
8	学習指導案の作成と指導技術(3)	①授業の導入 ②授業の展開 ③展開における指導技術 ④まとめ ⑤評価	白石
9	学習指導案の作成と指導技術(4)	学習指導案の作成(目標)	白石
10	学習指導案の作成と指導技術(5)	学習指導案の作成(はじめに、授業展開)	白石
11	学習指導案の作成と指導技術(6)	学習指導案の作成(授業展開、まとめ、評価)	白石
12	授業参観の方法、評価の方法・個別のニーズに関する指導技術	①授業参観の観点、学習評価の種類(ルーブリック評価)・方法 ②個別指導計画(目標、教材、授業展開、評価) ③学習指導案の作成方法	白石
13	略案の作成	指導案の作成	白石
14	情報機器の使用	指導技術と情報機器・教材の効果的な教材の作成、情報モラル	白石 下山竜良(特別講師)
15	高校で授業を行う上で必要な方法・技術	①作成した学習指導案における工夫の発表 ②自分が考える理想とする授業 ③授業工夫	白石 谷地田穰(特別講師)

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
		情報機器・教材の指導法の理解(含むモラル教育)	

【評価方法】

●最終レポート(作成した学習指導案及び略案、その説明書他)による評価 100%

【備考】

教科書：文部科学省「高等学校学習指導要領」(東山書房 978-4-8278-1478-1)
 文部科学省「高等学校学習指導要領解説 公民編」(教育出版 978-4-316-30023-8)
 「高校教科書 現代社会」(東京書籍 978-4-487-15342-8)
 他に授業中に授業の要点等を示したプリントを配布します。

参考書：「ICT活用指導ハンドブック」
 「評価基準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料(高等学校公民)」(教育出版)

【学習の準備】

予習：次回の授業範囲の教科書を読んで、理解しておくこと及び授業終了時に指示する課題を行うこと(80分間)。
 「教科用図書の指定箇所を読む」「学習指導要領の指定箇所を読む」「授業の計画を考える」「学習指導案の計画を考えて作成するに関する事項を指示する。
 復習：授業で行った教科用図書の箇所を読むこと。授業展開の工夫を考え深めること(80分間)。

【免許法施行規則に定める科目区分等】

「教職に関する科目」(教育課程及び指導法に関する科目)の「教育の方法及び技術(情報機器及び器材の活用を含む。)」に該当する。2019年度入学生からは「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の「教育の方法及び技術(情報機器及び器材の活用を含む。)」に該当する。

【実務経験】

高等学校教諭

【実務経験を活かした教育内容】

高等学校教諭としての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な内容を含みながら講義を行う。